

玉名市スポーツ推進計画

スポーツを通じて、キラリかがやけ
人・地域・たまな



平成29年3月策定

(令和4年12月改訂)

玉名市教育委員会



第1章 計画策定にあたって

- 1-1 計画策定の背景…………… P.1
- 1-2 計画策定の目的…………… P.2
- 1-3 計画における「スポーツ」の定義…………… P.2
- 1-4 計画の位置づけ…………… P.2
- 1-5 計画の期間…………… P.3
- 1-6 計画の見直し…………… P.3

第2章 基本理念と基本方針

- 2-1 基本理念…………… P.4
- 2-2 基本方針…………… P.5

第3章 計画推進のための具体的施策

- 3-1 子どもの体力向上…………… P.6
- 3-2 生涯スポーツの推進…………… P.9
- 3-3 競技スポーツの推進…………… P.12
- 3-4 地域主体のスポーツ活動の推進…………… P.14
- 3-5 スポーツによる地域活性化…………… P.16
- 3-6 スポーツ施設の整備・利用促進…………… P.18

第4章 その他

- 4-1 特記事項…………… P.20

参考資料

- スポーツに関する市民アンケート調査集計表…………… P.21

第1章 計画策定にあたって

1-1 計画策定の背景

近年、高齢化の進展や健康志向の高まりにより、スポーツを通じた健康づくりへの関心が高まっております。一方では、生活が便利になったこと、少子化の進展、地域の遊び場の減少、スポーツ以外への興味・関心などにより、子どもたちが日常的に体を動かす機会や場所が減ってきており、そのことが長期的な子どもの体力の低下傾向の主な要因と考えられています。また、個人の多様化する生活スタイルにともなって、市民スポーツの実施目的、実施内容も多様化しています。だれもが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しむには、多様なニーズに対して的確に対応していくことが必要です。

本市では、多様なニーズに対して的確に対応していくために、一部の社会体育施設に導入していた指定管理者制度を、平成29年度から全社会体育施設に導入することとなりました。

また、熊本県における小学校運動部活動の体制が大きく変わってきます。熊本県教育委員会が平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」により「平成30年度末までに小学校の運動部活動は社会体育へ移行する」ことになりました。これまで学校主体で運営していた運動部活動が、なくなることを意味し、社会体育での早急な受入態勢の整備が求められています。

その一方で、昭和39年（1964年）の東京大会以来、56年ぶりに夏季オリンピック・パラリンピック競技大会が平成32年（2020年）に東京で開催されることが決定し、全国的にスポーツに対する機運が高まる中で、今後、市民のスポーツへの興味や関心が深まっていくことが期待されています。

国は、近年のスポーツを取り巻く状況の変化を受け、平成23年（2011年）8月に「スポーツ基本法」が施行されました。さらに、平成24年（2012年）3月には「スポーツ基本計画」が策定されました。国のスポーツ政策では、スポーツ実施による健康の増進や体力向上だけではなく、地域における交流の促進やスポーツ界の好循環といった、スポーツの多面的な役割を明確にして、スポーツの推進を図ることが示されました。

また、県は、する・観る・支えるスポーツをとおして、すべての県民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う県民の姿を目指し、平成26年（2014年）2月に「熊本県スポーツ推進計画」を策定されました。

このようなスポーツを取り巻く社会情勢と本市の地域特性を考慮した今後のスポーツ推進の基本的方向を定めるため、「玉名市スポーツ推進計画」を策定することとしました。

1-2 計画策定の目的

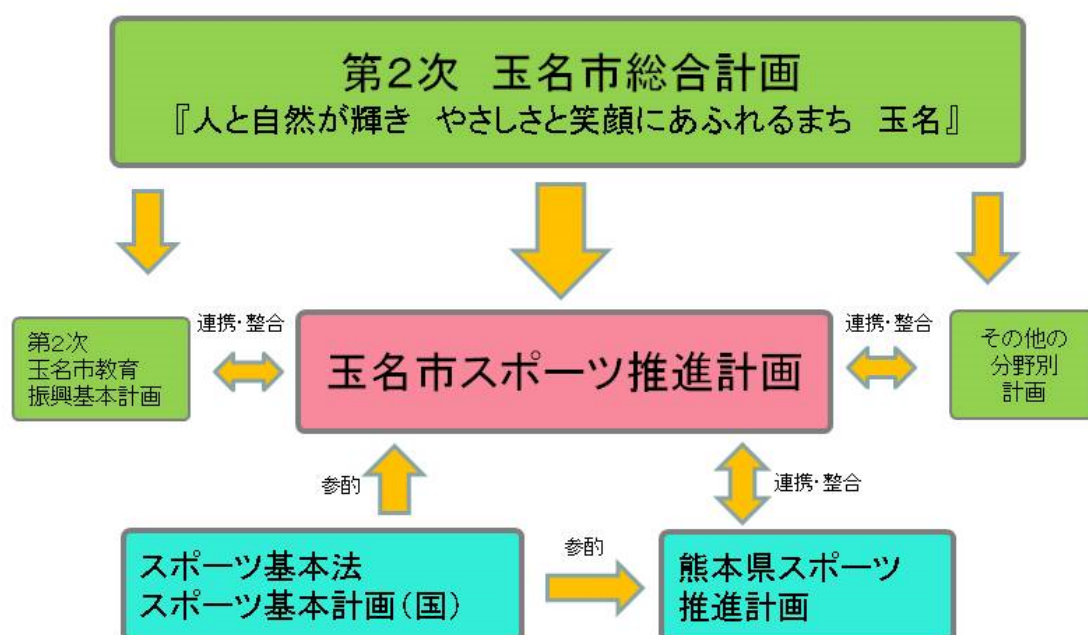
この計画は、玉名市民が、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、それぞれのニーズに応じてスポーツを楽しむことができる環境を整備し、スポーツを通じ、青少年の健全育成、生涯を通じた心身の健康保持、競技力の向上、地域コミュニティの活性化、そして玉名の活力の創造に寄与することを目的として策定します。

1-3 計画における「スポーツ」の定義

この計画では、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会等の競技スポーツだけではなく、気軽に行うことができるウォーキングや体操のような軽い運動、キャンプや野外活動、健康、体力づくりのために行う身体活動を含む幅広い活動を「スポーツ」と捉えることとします。

1-4 計画の位置づけ

この計画は、平成23年に制定されたスポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進計画であり、国のスポーツ基本計画、熊本県スポーツ推進計画の方向性を踏まえ、玉名市の関連計画との整合性を図った計画とします。

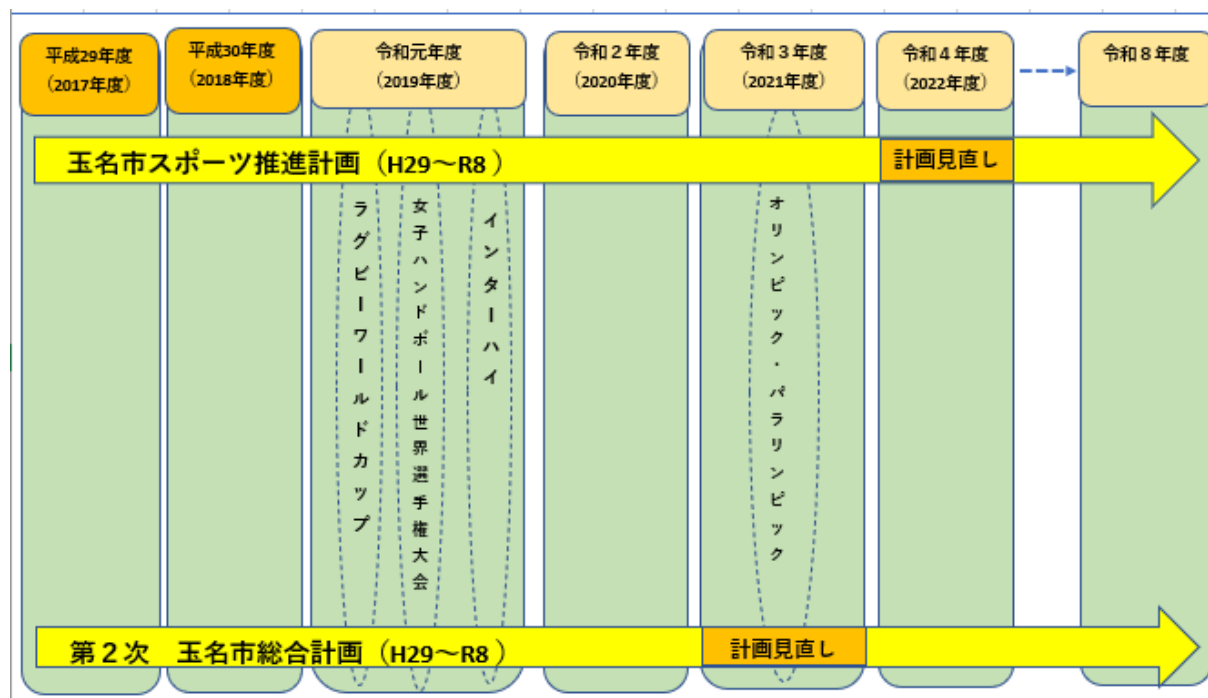


1-5 計画の期間

この計画の期間は、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間とします。

1-6 計画の見直し

この計画期間の中間年である令和4年度に計画の進捗状況を検証し、新型コロナウイルス感染症による影響、中学校部活動の地域移行、女性のスポーツ参加の推進及びスポーツ界におけるDXの推進等を踏まえた見直しを行いました。



第2章 基本理念と基本方針

2-1 基本理念

スポーツの楽しさ、喜びこそがスポーツの価値の中核であり、市民がスポーツの力で輝くとともに自己実現を図り、主体的に取り組むことにより、前向きで活力ある社会と絆の強い「人・地域・たまな」を創る。

基本理念

スポーツを通じて、キラリかがやけ

人・地域・たまな



2-2 基本方針

基本理念実現のため、以下の6つの基本方針に基づいた取り組みを実施します。

1 子どもの体力向上

生涯にわたって心身ともにたくましく健康に成長していくよう、子どもの頃からスポーツを楽しむことができる環境を整える。

2 生涯スポーツの推進

市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」気軽にスポーツを楽しむことができるような環境を整備する。

3 競技スポーツの推進

多くの市民に夢や感動を与える県内、全国、世界で活躍できる競技者を輩出できるように、競技の底上げや選手の育成を推進する。

4 地域主体のスポーツ活動の推進

スポーツ活動を通じて地域コミュニティの再生を図るため、身近な地域における市民の自主的なスポーツ活動を推進する。

5 スポーツによる地域活性化

スポーツ合宿誘致やスポーツイベントの開催等により、交流人口の拡大による地域の活性化を図る。

6 スポーツ施設の整備・利用促進

誰もが気持よく利用できるように、既存施設を含めスポーツ施設を整備・充実し利用の促進を図る。

第3章 計画推進のための具体的施策

玉名市スポーツ推進計画の施策体系

基本理念		基本方針	取り組み事項
スポーツを通じて、 キラリかがやけ	人 (市民)	1 子どもの体力向上	1 学校体育の充実
			2 スポーツ機会の充実
			3 指導者の確保・育成
		2 生涯スポーツの推進	1 生涯にわたるスポーツ活動の支援
			2 高齢者スポーツの推進
			3 障がい者スポーツの推進
			4 女性のスポーツ参加の推進
		3 競技スポーツの推進	1 スポーツ選手及び指導者の育成
			2 大会出場者への支援
	3 競技力向上のための大会の開催		
	地域	4 地域主体のスポーツ活動の推進	1 総合型地域スポーツクラブの設立推進・支援
			2 スポーツ推進委員による地域スポーツの推進
	たまな	5 スポーツによる地域活性化	1 スポーツイベント・スポーツ合宿による地域活性化
			2 スポーツ大会関連事業による地域活性化
			3 スポーツによる地域活性化の推進体制の検討
		6 スポーツ施設の整備・利用促進	1 スポーツ施設の充実及び利用促進
			2 学校体育施設の利用促進
			3 スポーツ情報の発信
4 スポーツ界における DX の推進			

3-1 子どもの体力向上

目標

子どもたちの誰もがスポーツの楽しさを体験し、その魅力を理解することにより、スポーツへの関心を高め、スポーツに取り組む習慣が身につくようにする。

また、子どもスポーツの指導者研修が充実するとともに、家族を含めた子どもスポーツを支える仕組みが充実することによって、子どものスポーツをする機会が拡充して、子どもたちの体力が向上することを目標とする。

体力テストの数値を全項目において**全国及び県平均以上**とする。

現状と課題

近年、遊び場や少子化による遊び仲間の減少、習い事の多様化やインターネット等の普及による遊び内容の変化、外遊びの防犯上の問題などにより、子どもたちが屋外や集団で遊ぶ機会が少なくなりました。

本市の小中学生の体力について、令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、全国平均及び熊本県平均と比較して概ね上回る状況ですが、持久力に改善が必要だと見受けられます。

また、本市においても、全国的な傾向と同じく、スポーツを「する子ども」と「しない子ども」が、二極化傾向にあります。

令和元年度に小学校の運動部活動が社会体育へ移行されたことにより、今後、スポーツをする小学生の減少の加速が危惧されており、さらに、中学校運動部活動の地域移行によりスポーツをする中学生の減少の加速も起こり、二極化傾向について重ねて心配されております。

そのため、未就学期及び小学校低学年時において、体を動かすことの楽しさを伝え、運動・スポーツの関心を高めるための取り組みを図る必要があります。また、学校教育（体育の授業）はもとより、学校以外でも体を動かす機会の充実を図る必要があります。

取り組み事項

1 学校体育の充実

- (1) 「生きる力」を育む体育の授業を推進するとともに、地域や家庭と連携し、子どもたちの体力向上に取り組みます。
- (2) 中学校の運動部活動については、令和7年度末までに休日の部活動を地域移行にするための取組を関係機関と連携して推進します。
- (3) 小学校・中学校体力テスト結果の分析及び活用検討を実施します。

2 スポーツ機会の充実

- (1) 玉名市スポーツ協会、地域の関係団体等と連携を図り、子どもたちに運動の大切さや遊びの中で、体を動かすことの楽しさを感じてもらうための教室を開催します。
- (2) 恵まれた自然環境を活かし、カヌー等の野外活動を推進し、子どもたちの体力向上と健全な成長を図ります。
- (3) 未就学期及び小学校低学年時において、運動・スポーツへの関心を高め、身体を動かすことの楽しさを実感できるよう、幼児や親子を対象とした親子参加型プログラムを実施します。
- (4) 夏季のプールの稼働時期に、子どもたちが水に馴染み、水難事故防止のために水泳教室を実施します。
- (5) 一人でも多くの青少年がスポーツを楽しみ、スポーツを通して青少年のこころとからだを育成するとともに、スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献するスポーツ団体の充実を図ります。

3 指導者の確保・育成

- (1) スポーツ団体による子どもを指導するスポーツ指導者を対象とした研修プログラムを支援します。
- (2) 指導者登録制度を構築し、人材の確保・活用を図ります。
- (3) スポーツ少年団等の経験者が将来指導者として再び活動に関われる仕組みの構築を目指します。



子供の健全育成事業
(中学校部活動地域移行に向けた講演会)

3-2 生涯スポーツの推進

目 標

成人の週1回以上のスポーツ実施率 **60%以上** (現状46.8% R4アンケート調査)

※国の目標値：65%程度 (現状56.4% 令和3年度スポーツの実施状況等に関する世論調査より)

現状と課題

令和4年7月に実施した20代から60代を対象としたアンケート調査では、「あなたは、健康のために進んで体を動かそうと思えますか」という問いに対して、「思う」と答えた人が83.6%、「週1回以上のスポーツ実施率」は、46.8%で、潜在的にスポーツ（運動）を行いたい人はいることとなります。

そこで、本市のスポーツ実施率の向上を図るためには、参加する市民のそれぞれの目的、ニーズに応じたスポーツ機会の提供が求められています。

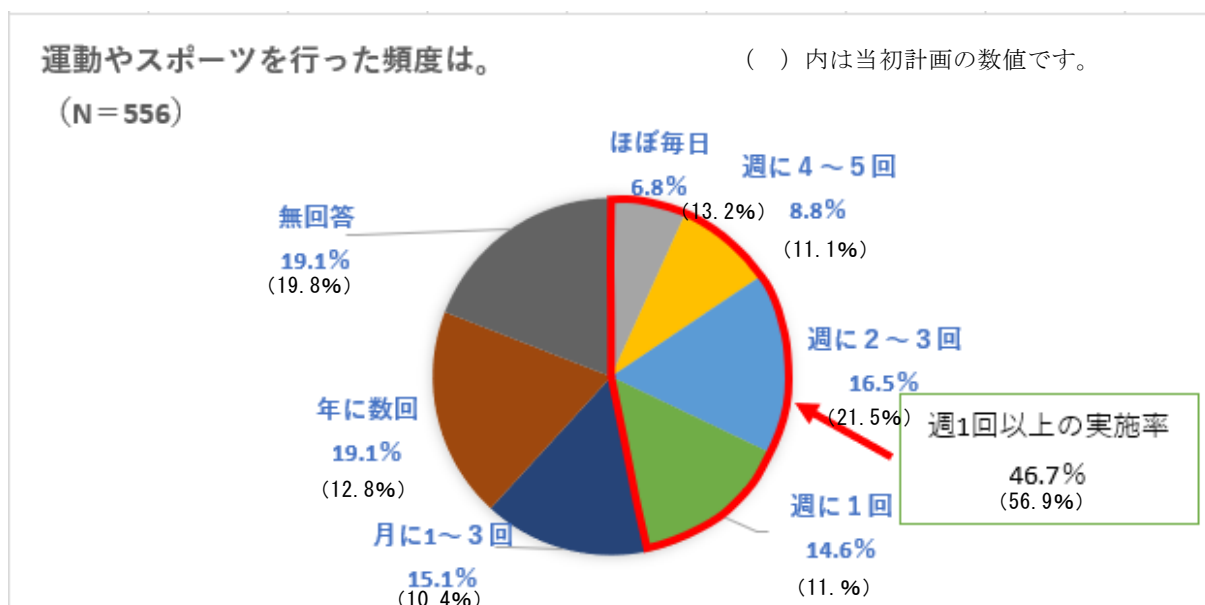
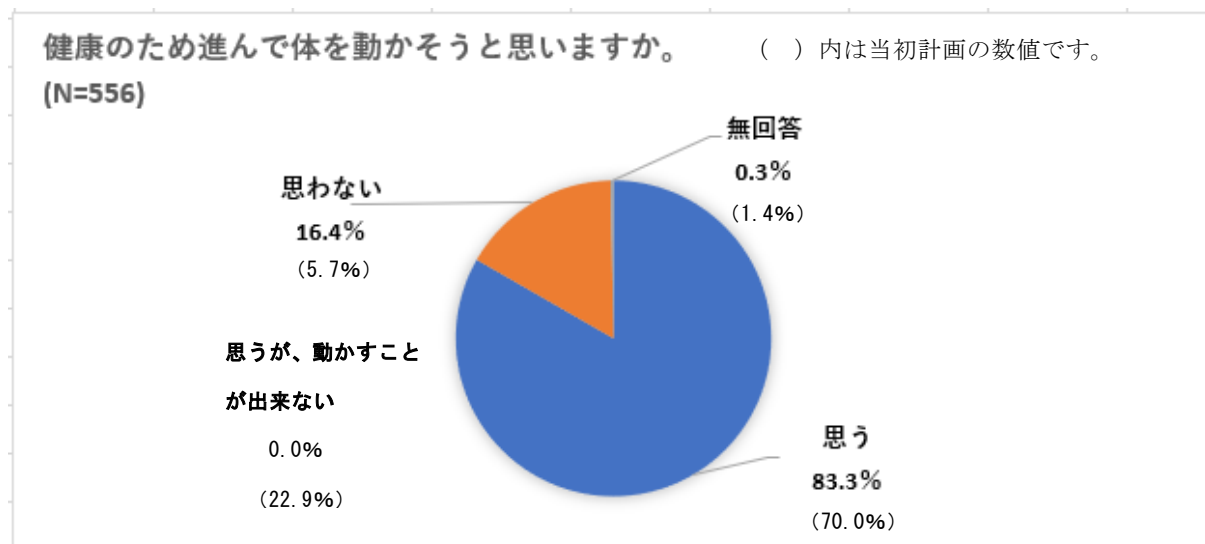
スポーツ実施率の低い若年層は、仕事や家事・育児とのバランスを図りながら日常的に気軽にスポーツに親しめるような参加機会の拡充を図る必要があります。

また、高齢者のスポーツ活動は、健康づくりや生きがいがづくり、さらには、体力向上にも大きな役割を果たしています。近年、中高年層を中心にウォーキングや健康体操、グラウンドゴルフなど健康づくりが盛んに行われています。

日常的に健康づくりに取り組み、体力の維持向上を図ることは、健康で充実した人生を送るとともに、医療費の削減にもつながります。さらには、人と人との交流が少なくなる中で、仲間づくり、生きがいがづくりを進めることは重要な施策であります。

また、障がい者が日常生活の中でスポーツ・レクリエーション活動に参加することは、自立や社会参加を促進するために重要な取り組みとなっています。

そのため、障がい者が身近な場所で気軽にスポーツ活動に取り組むことができるよう、参加しやすい環境の充実が求められています。



※令和4年に実施したアンケート調査では、新型コロナウイルスの影響で学校の休校や“ステイホーム”生活が長引いたことによる結果となっております。

取り組み事項

1 生涯にわたるスポーツ活動の支援

- (1) 気軽にできるスポーツや健康づくりとしてのスポーツ活動のニーズを捉え、スポーツ関係団体との連携のもと、全ての世代が気軽に楽しめるニュースポーツの普及に努めます。
- (2) 身近な場所で気軽に取り組むことのできるウォーキングや健康体操などに

ついて、周知啓発するとともに、関係機関と連携し、経験の少ない人、体力に自信のない人でも参加しやすいウォーキングイベントを開催するなど、スポーツ機会の拡大を図ります。

- (3) 市民のニーズを的確に把握しながら、各年代層に応じた教室や親子・家族などで参加できる教室などプログラムの充実に努めます。
- (4) 玉名市総合体育館トレーニング室の利用について、利用者のニーズに合ったプログラムメニューを作成し提供していきます。そのことで、利用者の継続性を促し、プログラムメニューの結果や効果を実感してもらうよう努めます。
- (5) 市民参加型のスポーツイベントとして、「玉名市スポーツフェスタ」を開催できるよう努めます。
- (6) 地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係機関と連携しつつスポーツを通じた健康増進によりスポーツ実施率の向上を図り、健康長寿社会を目指します。

2 高齢者スポーツの推進

- (1) 軽い体操などの運動習慣化など生涯を通じたスポーツ活動への取り組みを進めるため介護予防事業など健康・福祉分野と連携していきます。
- (2) 健康増進に関するスポーツの効用をアピールするとともに、水中ウォーキングなどの体力維持向上プログラムを実施します。
- (3) 近年、高齢者スポーツとしてグラウンドゴルフ人口が増加し、個人や地域のサークル、老人会などの団体において盛んに行われています。このグラウンドゴルフを支援するため、普及のための用具の貸し出しや大会の開催を実施します。

3 障がい者スポーツの推進

- (1) 障がい者が取り組めるスポーツ種目を推進するとともに、市民の障がい者スポーツに対する理解を深め、障がい者の社会参加の契機となるよう取り組みます。また、体育施設のバリアフリー化にも取り組みます。

4 女性のスポーツ参加の推進

- (1) 女性のスポーツ実施率が男性よりも低くなっていることを踏まえ、女性特有の健康課題も踏まえつつ、世代ごとのスポーツ実施率の向上を図り、女性指導者の育成を支援し、各種競技大会における女性枠を設けるなど女性のスポーツ参加促進に向けた取組を進めます。

3-3 競技スポーツの推進

目 標

全国大会等出場者数（全国大会等出場激励金交付対象者数）
H29、H30、R1年平均 117人 ⇒ 目標出場者数 200人以上
(R2 31人 R3 66人)

現状と課題

本市において、各種競技スポーツ大会が盛んになっており、小学生から全国大会へ出場する子どもたちも増加しています。競技力の向上にはトップレベルの技術等に身近に触れることも大切であり、これまで長年、若手選手の育成を目的に実施している金栗杯玉名ハーフマラソン大会の開催を通じて機会充実に努めてきました。

今後は、スポーツ協会、各団体等と連携し、質の高いスポーツ指導者の育成を図ることやボランティア活動を支援する体制づくりが求められます。

また、スポーツ指導における暴力行為の根絶については、指導者をはじめスポーツ関係者が一丸となって取り組むことが必要です。

取り組み事項

1 スポーツ選手及び指導者の育成

(1) 競技者のパフォーマンスを最大限に引き出すためには、心身両面にわたる自己管理意識の高揚やスポーツ医・科学分野との連携が必要です。

スポーツドクターやスポーツ科学分野の専門家に協力を要請し、総合的な競技者支援体制の整備に努めます。

(2) プロやトップアマチュアの選手やチームを招聘してスポーツ教室や交流イベントを開催し、トップアスリートの技術を学んだり、交流できる機会をつくれます。

(3) スポーツ指導者としての資質向上・資格取得を目指す市民に対して、関係

機関と連携し、日本体育協会の公認スポーツ指導者、各種目団体認定指導者などの資格取得を促進します。

- (4) 指導者の充実と競技力の向上を目指していくため、優秀な指導者の確保・発掘に努めます。しかしながら、指導者の確保にあたっては、市内だけでは難しいと考えられることから、U・Iターンも取り入れ、市の定住支援施策と連携し、指導者の確保に努めます。

2 大会出場者への支援

- (1) 全国大会等に出場する選手に激励金を交付し顕彰に努め、競技力の向上を図ります。
- (2) 全国大会等に出場する選手や団体の活動状況や活躍などを、広報紙「広報たまな」などで周知します。
- (3) 県民体育祭、郡市対抗駅伝大会の出場者派遣に対する支援を行うとともに、県民体育祭永年出場者に対して表彰を行います。

3 競技力向上のための大会の開催

- (1) レベルの高い試合、競技、プレーを見ることも競技者の技術力向上にとって重要と考えることから、金栗杯玉名ハーフマラソン大会を開催していきます。
また、各競技団体が主催するくまもと玉名杯九州高校生レスリング大会及び金栗駅伝大会についても支援します。



3-4 地域主体のスポーツ活動の推進

目 標

玉名市総合型地域スポーツクラブの加入者数

135人（令和4年9月末現在） ⇒ 目標加入者数 3,000人

現状と課題

スポーツ活動は、身近な地域において、幅広い世代の市民が相互に交流する機会となることから、スポーツを通じて地域の一体感や地域に対する愛着が生まれ、活力を生み出すことが期待されます。

そのために、地域住民が主体となり、中学校区程度の地域において、身近なスポーツ施設である学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点として活動する団体である総合型地域スポーツクラブの設立支援を図っています。

現在、総合型地域スポーツクラブは、いだてん玉名の1団体のみが活動しています。今後は、市内全地域での活動を推進する必要があります。

さらに、クラブの自主運営で最も必要とされる人材の確保など、クラブ設立後の継続的な支援が求められています。

また、本市では、公民館支館を基本的な単位とする21の地域で、まちづくり活動を行っています。多くの地域では、公民館支館の主催による運動会などのスポーツ行事を実施され、交流・親睦を深めています。

しかし、地域によっては高齢化が進むとともに、子どもの数が減少し、地域の子供会がなくなるなど、スポーツ行事が成り立たなくなってきたところもでてきています。

このような状況の中で、地域のスポーツ活動をどのように活性化させていくのが課題となっています。



玉名市総合型地域スポーツクラブ
設立準備委員会の会議

取り組み事項**1 総合型地域スポーツクラブへの支援**

- (1) 総合型地域スポーツクラブ設立後に地域スポーツの振興やスポーツを通じた地域づくりが図れるよう、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブの運営体制を支援します。
- (2) 総合型地域スポーツクラブに対する市民の関心を高め、クラブ会員の増加や積極的な利用がなされるよう、クラブの活動内容などを広く市民に周知・啓発することで各地域への定着を支援します。
- (3) 中学生等の青少年にとってふさわしいスポーツ環境の実現を目指し、まずは休日の部活動の地域移行に伴い、関係機関と連携して総合型地域スポーツクラブからの指導者の人材支援等ができるように取組を推進します。

2 スポーツ推進委員による地域スポーツの推進

- (1) 市内各学校体育施設を拠点に、地域に密着したスポーツ活動の普及促進に努めるとともに、公民館支館等が中心となって開催する、ファミリースポーツやニュースポーツ大会などの取組を支援し、地域スポーツの活性化を図ります。
- (2) 地域住民へのスポーツ普及に重要な役割を果たすスポーツ推進委員を対象とした研修会や講習会の開催を通じて、スポーツ推進委員相互の交流やスキルアップを図ります。
- (3) 地域スポーツ活動の普及促進を図るため、玉名市スポーツ推進委員協議会の運営や活動に対して支援を行います。

3-5 スポーツによる地域活性化

目 標

スポーツイベントの開催やスポーツ合宿誘致により、スポーツの競技力向上や底辺拡大のみならず、関係団体と連携し、交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。

玉名市でスポーツ合宿を受け入れる団体数を年間30団体以上とします。

現状と課題

スポーツ合宿は、単に施設の整備や利用面だけではなく、交通アクセス、宿泊、食事など多岐にわたる連携が必要です。

このようなことから、スポーツ団体や観光関係団体等と連携して、スポーツ施設や宿泊施設等の情報を発信するなど一体的な取り組みを行うことが必要です。

さらに、スポーツ合宿誘致には、広域での取り組みを行うことで、施設の有効活用などで効果も期待されることから、広報活動、域内外の交通体系、宿泊対策など広域での取り組みも求められています。

また、スポーツ施策の推進に当たっては、競技種目や合宿等の誘致のほか、大会終了後の波及効果をもたらす取り組みも重要となっています。このように産業振興や地域活性化といった視点を考慮する体制整備が必要です。



取り組み事項

1 スポーツイベント・スポーツ合宿による地域活性化

- (1) 県内外の人々をスポーツで玉名市へ呼び込み、地域の活性化を図るため、関係団体と連携を図り、スポーツ大会による地域交流を促進します。
- (2) プロスポーツチームのキャンプやスポーツ合宿の受け入れは、観光客誘致や地域のイメージアップなどの効果が期待されます。
スポーツ競技団体や観光団体等と連携し、広域的な取り組みも考慮し、スポーツ合宿誘致を図ります。
- (3) 市内社会体育施設の中で、玉名温泉に近く利便性の良い「蛇ヶ谷テニスコート」において、学生等の合宿誘致をモデル事業として取り組みます。

2 スポーツによる地域活性化の推進体制の検討

- (1) スポーツ施策については、関係団体等との連携を図りながら、これまで以上に多様な施策領域との連携・融合等による施策展開が求められることから、施策を効果的・積極的に推進していくための組織改革を検討します。



3-6 スポーツ施設の整備・利用促進

目 標

市民のスポーツ活動の基盤として役割を担えるよう、施設・設備の充実などスポーツ環境の整備を行います。

また、スポーツ施設の利用増進やサービスの向上を図るために、管理・運営の体制強化を図ります。

スポーツ施設の年間利用者数

H29、H30、R1年平均 445,665人 ⇒ 目標利用者数 450,000人
(R2 209,256人 R3 233,528人)

現状と課題

本市には、体育館5施設、野球場2施設、運動広場・グラウンド4施設、テニスコート3施設、プール2施設など20のスポーツ施設が存在します。平成29年度から、より効果的・効率的で利用しやすい管理運営を推進するため、これらの施設に指定管理者制度を導入しています。

また、老朽化が進んでいる施設も多いことから、計画的に修繕や改修を進める必要があり、さらには市民から要望が多い新規の社会体育施設についても検討することが求められています。

市民へのより一層のスポーツに関する情報の周知とスポーツ愛好者の拡大を図るため、今後はスポーツに関係する団体が独自でスポーツに関する情報を提供でき、広く市民がスポーツに関する情報を共有できることが望まれています。

取り組み事項

1 スポーツ施設の充実及び利用促進

- (1) 老朽化しているスポーツ施設については、計画的に改修整備を進めるとともに、機能集約や転用も含め施設全般の必要性等を考慮し効果的・効率的な施設運営に努めます。

- (2) スポーツだけでなく、地域や家族ぐるみの多様な活動にも配慮し、利用者にとって魅力的な施設となるような環境整備に努めます。
- (3) 各スポーツ施設の管理運営について、指定管理者制度を導入するなど民間活力を活用します。また、指定管理者の連携を強化し、施設管理及びスポーツ振興の共通認識を持ち、更なる利用促進を図るため、市と指定管理者との連絡を強化します。
- (4) スポーツ施設の整備計画については、玉名市公共施設長期整備計画に沿った推進を図ることはもとより、市民ニーズの高まり等により必要性が生じた場合は、改めて検討します。

2 学校体育施設の利用促進

- (1) 地域住民のスポーツ活動の場として、学校の教育に支障のない範囲で、学校の体育施設の効率的な利用を促進します。
また、効率的な利用促進を図るため、学校体育施設開放事業を積極的に進めていきます。

3 スポーツ情報の発信

- (1) 広報たまな、市ホームページやさまざまな広報媒体を有効に活用し、スポーツ施設・スポーツイベント・スポーツ教室等についての情報を広く発信します。
- (2) 市ホームページ・社会体育施設の専用ページから最新の情報をわかりやすく発信していきます。

4 スポーツ界におけるDXの推進

- (1) スポーツ界においてDXを導入することで、様々なスポーツに関する知見や機会を市民・社会に広く提供することを可能とし、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性を高めます。

DX とは・・・Digital Transformation (デジタル トランスフォーメーション) の略称で、サービスやビジネスモデルをデジタル技術によって変革することです。

第4章 その他

4-1 特記事項

私達は、令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、新しい生活様式の実践を余儀なくされ、中長期に渡り感染症対策と向き合う中で、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されています。

本市においても、多くのスポーツ大会や行事等に中止等の影響がもたらされました。

このような感染症の拡大は、地域において様々な制限が設けられ、そうした制限の時こそ、そこに住む人びとの結束力が試されます。制限への対処には、いろいろな暮らし方をしている地域の人びとの「助け合い」が必要ですが、いざという時の「助け合い」は、日頃からの豊かな地域コミュニティ活動があつてはじめて発揮されるといえます。そこで、「スポーツ」が地域コミュニティ活動の重要な要素となるよう推進していきます。

最後に、「スポーツの力」により玉名市民が人生を楽しく健康で生き生きとしたものになるよう願っております。



国民体育大会第42回九州ブロック大会

(なぎなた競技) 開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る



市総合体育館ロビーを利用した新型コロナウイルスワクチン接種

参 考 資 料

スポーツに関する市民アンケート調査集計表

I 調査概要

調査対象者

玉名市民の中から現役世代を中心に約 1,200 名。

回答・回収率

調査対象件数	約 1,200 (件)
回収数	556 (件)
回収率	46.3 (%)

II 調査結果

(問 1 から問 3 までは省略しております。)

問 4. 現在、あなたの健康状態はいかがですか。(○は 1 つ)

上段:件数 下段: %	調査数	良い	普通	悪い	無回答	無回答
	556	271	251	30	4	4
	100.0	49.1	45.5	4.7	0.7	0.7

「良い」が 49.1%と最も高く、次いで「普通」が 45.5% となっている。

問 5. あなたは、健康のため進んで体を動かそうと思えますか。(○は 1 つ)

上段:件数 下段: %	調査数	思う	思わない	無回答
	556	463	91	2
	100.0	83.3	16.4	0.3

「思う」が 83.3%と最も高く、次いで「思わない」が 16.4%となっている。

「思う」と回答した人が、実際に運動・スポーツを行うように機会の提供の充実を図る必要がある。

問 6. あなたが過去 1 年間に行った運動やスポーツのうち、実施回数の多いもの、またその運動やスポーツを行った頻度を下記から選んで回答欄にお書きください。

・運動名

上段:件数 下段: %	調査数	ウォーキング・散歩	ジョギング・マラソン	登山・ハイキング	サイクリング	器具を使ったトレーニング	水泳	ボウリング	ゴルフ(含練習場)
	556 100.0	247 44.4%	26 4.7%	5 0.9%	5 0.9%	9 1.6%	4 0.7%	1 0.2%	8 1.4%

陸上競技	野球	サッカー(含フットサル)	バスケットボール	バドミントン	卓球	テニス(軟式・硬式)	バレーボール
1 0.2%	6 1.1%	2 0.4%	12 2.2%	30 5.4%	3 0.5%	12 2.2%	8 1.4%

ソフトボール	グラウンドゴルフ	ゲートボール	ビーチボールバレー	ベタンク	柔道	剣道	弓道
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.6%	0 0.0%	1 0.2%	3 0.5%	0 0.0%

空手	ダンス	少林寺拳法	ワンバウンドフラバールボールバレー	体操(エアロビクス・ラジオ体操)	トランポリン	その他	過去1年間全く実施せず	無回答
1 0.2%	4 0.7%	0 0.0%	3 0.5%	18 3.2%	0 0.0%	26 4.7%	108 19.4%	4 0.7%

「ウォーキング・散歩」が 44.4%と最も高く、次いで「バドミントン」が 5.4%、「体操(エアロビクス・ラジオ体操)」が 3.2%となっている。一方、「過去 1 年間全く実施せず」も 2 割弱となっている。

「ウォーキング・散歩」が最も高くなっている要因としては、手軽に出来る、対象年齢層の幅が広い、運動量をコントロールしやすいなどがあると思われるため、今後、更なる推進が求められる。

・頻度

上段:件数 下段: %	調査数	ほぼ毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回	月に1~3回	年に数回	無回答
	556 100.0	38 6.8	49 8.8	92 16.5	81 14.6	84 15.1	106 19.1	106 19.1

「年に数回」が 19.1%と最も高く、次いで「週に 2~3 回」が 16.5%、「月に 1~3 回」が 15.1%となっている。

また、「週 1 回以上のスポーツ実施率」は、46.7%となっている。年代別にみると 20 代から 30 代の実施率が低くなっている。この年代は、仕事や家事・育児とのバランスを図りながら日常的に気軽にスポーツに親しめるような参加機会の拡充を図る必要がある。

問 7. あなたが過去 1 年間に行った運動やスポーツのうち最も実施回数が多い種目は、どのようにして行いましたか。(○はいくつでも)

上段:件数 下段: %	調査数	クラブ、同好 会に所属	スポーツ教室 に参加	友人や家族と 共に	一人で	無回答
	556	50	14	249	182	61
	100.0	9.0	2.5	44.8	32.7	11.0

「友人や家族と共に」が 44.8%と最も高く、次いで「一人で」が 32.7%、「クラブ、同好会に所属」が 9.0%となっている。

「スポーツ教室に参加」は 2.5%と少ないため、今後、魅力ある新たなスポーツ教室を開催する必要がある。

問 8. あなたが過去 1 年間に行った運動やスポーツのうち最も実施回数が多い種目は、どのような施設で行いましたか。(○はいくつでも)

上段:件数 下段: %	調査数	市内の 公共の スポーツ施設	市内の学校 の体育施設	市内の 民間の スポーツ施設	道路・公園	その他	無回答
	556	61	50	17	265	110	53
	100.0	11.0	9.0	3.1	47.7	19.8	9.5

「道路・公園」が 47.7%と最も高く、次いで「市内の公共のスポーツ施設」が 11.0%、「市内の学校のスポーツ施設」が 9.0%となっている。

問 9. 自分の好きな運動やスポーツのクラブ、同好会やスポーツ教室があれば、あなたは、加入したいと思いますか。(○は 1 つ)

上段:件数 下段: %	調査数	既に参加 している	加入したい と思う	加入したい とは思わない	わからない	無回答
	556	29	167	126	230	4
	100.0	5.2	30.0	22.7	41.4	0.7

「わからない」が41.4%と最も高く、次いで「加入したいと思う。」が30.0%、「加入したいとは思わない。」が22.7%となっている。

そこで、市民のニーズを的確に把握しながら、各年代層に応じた教室の開催や各サークルや同好会の情報の発信を行う必要がある。

問 10. クラブ、同好会やスポーツ教室に加入する場合、毎月いくらまでなら金銭的な負担が可能ですか。(○は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	1,000円 未満	1,000円～ 3,000円 未満	3,000円～ 5,000円 未満	5,000円～ 10,000円 未満	10,000円 以上	無回答
	556	118	313	95	11	2	17
	100.0	21.2	56.3	17.1	2.0	0.4	3.0

「1,000円～3,000円未満」が56.3%と最も高く、次いで「1,000円未満」が21.2%、「3,000円～5,000円未満」が17.1%となっている。

問 11. あなたは今まで、地域住民が参加するスポーツ活動(支館球技大会、地区運動会等)に参加したことがありますか。

上段:件数 下段: %	調査数	ある	ない	無回答
	556	268	284	4
	100.0	48.2	51.1	0.7

「ある」が48.2%、「ない」が51.1%となっている。

問 12. あなたが、地域住民が参加するスポーツ活動に参加するとしたら、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

上段:件数 下段: %	調査数	幅広い世代 が参加できる こと	同世代が 参加している こと	家族・友人で 一緒に参加 できること	身近な場所 で行われる こと	魅力的な内 容であること	参加しやすい 日時である こと	その他	無回答
	1262	187	89	161	306	190	313	16	0
	100.0	14.8	7.1	12.8	24.2	15.1	24.8	1.2	0.0

「参加しやすい日時であること」が24.8%と最も高く、次いで「身近な場所で行われること」が24.2%、「幅広い世代が参加できること」が14.8%となっている。

問 13. あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」についてご存知ですか。(〇は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	知っている	知らない	名前は聞いたこと があるが詳しく は知らない	無回答
	556	169	241	145	1
	100.0	30.4	43.3	26.1	0.2

「知らない」が43.3%と最も高く、次いで「知っている」が30.4%、「名前は聞いたことがあるが詳しくは知らない」が26.1%となっている。

総合型地域スポーツクラブの認知度は、まだまだ低い、会員を募るためにも認知度を上げるような発信をする必要がある。

問 14. あなたの地域に「総合型地域スポーツクラブ」ができれば入ってみたいと思いますか。(〇は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	(会員として) 既に 入っている	(会員として) 入ってみたい	(会員として) 条件さえあえば 入ってみたい	(スタッフや指導 者として)関わっ てみたい(既に 関わっている)	入りたくない	無回答
	556	10	32	347	5	156	6
	100.0	1.8	5.8	62.4	0.9	28.1	1.0

「(会員として) 条件さえあえば入ってみたい」が62.4%と最も高く、次いで「入りたくない」が28.1%、「(会員として) 入ってみたい」が5.8%となっている。

問 15. あなたは、スポーツの指導をしたことがありますか。(〇は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	以前していた	現在している	これからしてみ たい	したことがない し、これからもす る予定はない	無回答
	556	59	42	9	443	3
	100.0	10.6	7.6	1.6	79.7	0.5

「したことがないし、これからもする予定はない」が79.7%と最も高く、次いで「以前していた」が10.6%、「現在している」が7.6%となっている。

「これからしてみたい」と回答した人を実際の指導者として確保・育成できるかを早急に検討する必要がある。

問 16. 問 15 で「以前していた」、「現在している」、「これからしてみたい」と答えた方にお聞きします。
 スポーツ指導の対象者はどのような年齢層を想定していますか。(○は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	子どもから大人までの多世代	無回答
	185	22	57	57	7	11	31	0
	100.0	11.9	30.8	30.8	3.8	5.9	16.8	0.0

「小学生及び中学生」が 30.8%と最も高く、次いで「子どもから大人までの多世代」が 16.8%、「幼児」が 11.9%となっている。

問 17. 問 15 で「以前していた」、「現在している」、「これからしてみたい」と答えた方にお聞きします。あなたの指導していた(している・してみたい)スポーツの種目は何ですか。(○はいくつでも)

上段:件数 下段: %	調査数	ウォーキング・散歩	ジョギング・マラソン	少林寺拳法	空手	ダンス	水泳	ボウリング
	110	7	1	0	0	3	8	0
	100.0	4.9	0.7	0.0	0.0	2.1	5.6	0.0

ゴルフ(含練習場)	陸上競技	野球	サッカー	バスケットボール	バドミントン	卓球
0	7	8	9	18	13	1
0.0	4.9	5.6	6.3	12.5	9.0	0.7

テニス(硬式・軟式)	バレーボール	ソフトボール	グラウンドゴルフ	ゲートボール	ビーチボールバレー	ペタンク
13	14	5	0	0	3	0
9.0	9.7	3.5	0.0	0.0	2.1	0.0

柔道	剣道	弓道	フンパウンドフラパールボールバレー	体操(エアロビクス・ラジオ体操)	トランポリン	レスリング	その他	無回答
3	4	1	0	5	0	1	20	0
2.1	2.8	0.7	0.0	3.5	0.0	0.7	13.6	0.0

「バスケットボール」が 12.5%で最も高く、次いで「バレーボール」が 9.7%となっている。

問 18. 問 15 で「以前していた」、「現在している」、「これからしてみたい」と答えた方にお聞きします。どれぐらいの頻度でスポーツ指導をすることが可能ですか。(または、現在どのぐらいの頻度でスポーツ指導をしていますか。)(○は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	ほぼ毎日	週に4~5回	週に2~3回	週に1回	月に1~3回	無回答
	173	4	15	37	46	71	0
	100.0	2.3	8.7	21.4	26.6	41.0	0.0

「週に1~3回」が41.0%と最も高く、次いで「週に1回」が26.6%、「週に2~3回」が21.4%となっている。

問 19. 市内のスポーツ教室等の情報を入手するとしたら、どういった方法で入手したいですか。(○は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	各体育施設の 掲示板、 ポスター	広報たまな	市ホームページ	新聞折り込み	市役所本庁、 各支所の 窓口	その他	無回答
	843	83	383	213	59	20	85	0
	100.0	9.8	45.4	25.3	7.0	2.4	10.1	0.0

「広報たまな」が45.4%と最も高く、次いで「市ホームページ」が25.3%、「その他」が10.1%となっている。


問 21. 玉名市において、スポーツ大会・スポーツ合宿を誘致することについてどう思いますか。(○は1つ)

上段:件数 下段: %	調査数	非常に良い	良い	あまり良い とは思わない	良いとは思 わない	わからない	無回答
	556	152	248	19	4	118	15
	100.0	27.3	44.6	3.4	0.7	21.2	2.8

「良い」が44.6%と最も高く、次いで「非常に良い」が27.3%、「わからない」が21.2%となっている。「良い」と「非常に良い」の合計は、71.9%で、スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の増加を図ることについては、市民からの一定の理解を得ている。

問 22. あなたが、今後、市のスポーツ振興に望むことがありましたらご自由にお書き下さい。

【市への要望（政策・広報等）】

- ・小学生のうちに児童全員が 25m 泳げるようにしてほしい。
- ・合宿誘致はぜひやってほしい。玉名市内に宿泊すれば、ひとり 1000 円の補助をするとか。合宿の際に泊まる場所がないため、廃校などをリノベーションして活用するなど。体育館やグラウンドは整備すれば、使えると思う。温泉はあるので、食材は地元産を提供、布団レンタルは市内布団扱い店、弁当宅配などいろいろな業種を巻き込んで玉名市に合宿誘致を望みます。実際、今年合宿場所を探したが、合うところがなかった。草枕温泉キャンプ場は予約で取れなかった。安く泊まれて合宿できるところがあれば、いいと思います。
- ・スポーツ協会が各競技団体の活動を経済的に支えること。
- ・施設面が他の自治体に比べて遅れている。特にサッカー場、公認陸上競技場がないのが残念。
- ・気軽に低価格で参加できる事。
- ・地域ごとにスポーツごとの体験や教室を開いてほしい。
- ・町のスポーツ大会等は、本当にしたい人だけでして欲しい。普段スポーツしないのに、人数集めで参加しなければならない場合があり、怪我の可能性が高くなります。
- ・もっと若い世代がやりたがっているスポーツを取り入れてみてはいかがでしょうか。
- ・サッカー場や 400 メートルトラックのある陸上競技場を是非とも玉名市に作っていただきたいです。
- ・施設が使いにくい。桃田運動公園に夜ウォーキングに行きたいと思っても、トラック周りは木の根でアスファルトが盛り上がり危ない。薄暗くて、木や草は生い茂り、とてもじゃないが夜に歩こうとは思わない。駐車場が少ない。プールに行きたいと思っても夏休みだけの解放。しかも屋外。喜んで行くのは中学生まで。全く役に立たない。横島のゆとり一む、岱明の B&G、よそには室内プールがあるのになぜ玉名にないのか？スポーツ推進というのなら、まず施設の見直しからお願いしたい。
- ・現在、小学生を対象にクラブ活動を行っているが、保護者への金銭的な負担を少なくするため、公共施設の使用料をなくしてほしい。
- ・海外の人気のあるスポーツチームを誘致してほしい
- ・身近な場所での環境や施設の充実化。
- ・Q23 の大会等誘致は良いことと思うが、あわせてビジネスホテルも誘致した方が良くと思います。
- ・ラグビーも取り入れてほしい。
- ・気軽に参加できるようなサークルがあればいいなと思います。
- ・経験したことのない競技の顧問になられる先生たちの精神的な負担を、もっと重く

考えていただきたいです。とても苦しいです。

- ・スポーツごとに、玉名市内の会場を割り振る。偏りのないように。玉名市全体が盛り上がるような取り組み。
- ・市民が安心安全に健康活動ができるための環境整備をお願いしたいです。
また、運動指導者の研修などを実施され、指導者の資質向上をお願いします。
ゆとり一むの筋トレマシンの修理や新たな機器の導入をしてほしい。
- ・子どもたちが、保護者の送迎がなくてもスポーツをすることができる環境。
- ・公共の市営体育館の体育館使用料をもう少し学校体育施設みたいに安くなるとありがたい。
- ・全天候型の陸上競技場の建築及びその周辺を利用したジョギングコースの設置。
- ・したい人がやる。強制しない。
- ・できれば、競技経験者にスポーツ振興指導をお願いしたいです。教職員でも経験者でないものにとっては、やはり心理的な負担があります。部活動とクラブチームとの折り合いを市が仲介していただければスポーツ振興が進むのではないかと思います。そのための財源等をどう確保するかがまた課題になると思います。
- ・施設の充実。特にサッカー場と400mトラックの陸上競技場の新設。
- ・子育て世代の親が、自分の子と同じ競技で、子ども達の応援にあたるのがよいと思います。指導となると、ハードルが上がるので、指導補助、お手伝いみたいな感じなら、協力できる方も増えるのではないかと思います。
- ・小学校、中学校の部活のように学校が終わってそのまま部活に行き、下校する流れが親としても安心で、送迎が必要であったり、高い月謝だと負担や仕事で都合がつかなかったりで、子供達のスポーツ離れや体力低下が心配です。
- ・競技を問わず玉名市全体で子供達のスポーツの向上に向けて、メンタルトレーニング含め様々な形で取り組んで欲しいです！！
スポーツと学力はどちらも大事です。講演会やスポーツイベントなどゲストなどを誘致するなどして、市全体で取組んで頂きたいです！！
- ・市で開催される、マラソン大会等(いちごマラソンや金栗マラソンなど)その他、それぞれのスポーツでのカップ戦(宿泊や大会記念 T シャツ販売や物産販売など)と観光を抱き合わせた形でスポーツ大会の誘致を積極的にしていただければと思います！
- ・地域の受け入れ体制にはやく着手してほしい
- ・大きな大会を誘致できる施設がない。何の競技にしても、チームのサポーターにつけるくらいの環境があれば関わり方も広がると思う。
- ・中学校の部活動をどうするのか、早く指針を示してもらいたい。
- ・部活の地域移行で、学校の教職員が授業づくりにかける時間を増やしてほしい。
- ・桃田野球場に照明が欲しいです。
- ・子どもたちや学校の負担にならないようにして欲しい。以前ハンドボール海外選手が合宿する時、子どもたちは準備だけ一生懸命にやって、ドタキャンされたことがあったので。サッカーをする場所が玉名にはないので、あったら良いと思います。
- ・他の市に比べたらサッカーができるところがない。村にも立派なコートがあり週末

はどこも賑わって、活気があるが、玉名はとても寂しい。

- ・健康のためにスポーツをやりたいが仕切りが高い。いろんなスポーツを体験してみたい。
- ・全国大会を開催出来るくらいの規模の体育館や施設の建設。中途半端な規模はダメ。子どもの全国大会に何度も行きましたが、宿泊観光お土産含め、多額のお金もその地区に落とせます。何故、玉名市が観光業も特産もあるのに活用出来ないのか、全国大会に行く度に残念に思います。とにかく、作る施設が全て中途半端な規模。
- ・無くしちゃだめだとおもう
- ・今の30代以上は子供の頃からスポーツに慣れ親しんでいると思いますが、今の子供たちはなかなかスポーツをする機会が限られていると思います。小さい頃から動いていないと、大きくなってから親が何かさせようと思っても、きつい、できないという感じで…幼児や小学校低学年が入れるようなスポーツクラブが選べるようになったらとてもいいと思います。
- ・桃田体育館などで活動出来れば嬉しい。
- ・学校ごとの部活動ではなく、地域のスポーツクラブで各種の大会（中体連大会も含む）に出場できるようにしてほしい。
- ・桃田のプールがなくなるみたいな話を聞きましたが、小さい子供の水遊び、水泳大会等ができなくなるのは残念です。
もしなくなるようならば、桃田に変わるプールを検討していただければと思います。
宜しくお願い致します。
- ・人を呼ぶことによって、消費も増えるので、お店、飲食店やモールを増やして、玉名を楽しい場所に変えてほしい！
- ・施設、駐車場など環境面を整えること。
- ・中学生の部活動を早く地域に移行し、受けたい指導者のもとでできる環境を整えてほしい。
- ・陸上競技場の400mトラックがほしい。(できれば、タータンがいいが。)
- ・もっと、玉名で誘致したスポーツの試合がみたい。
- ・夜間に道路でジョギングやウォーキングをすることがあり、他に多くの人もしているが、街中もバイパスも街灯が少なくとても暗い。転倒、交通事故や女性は痴漢といった事件、事故の危険性も高いので、専用のコースや街灯整備があると良い。
- ・多すぎない人数での開催ができるプログラムがあれば参加しやすいです。
- ・地域のために税金を有効に活用してほしい。
- ・外部から色々と情報を得て、指導していただきながら、活気ある魅力いっぱいの玉名を実現してほしい。
- ・小学校の部活動がなくなり、中学校の部活動も衰退しています。保護者の地域のつながりも希薄になっているのを感じています。小中学生が、自分が通う学校でスポーツに取り組めるよう、市が学校に外部指導員の斡旋や金銭面の助成など積極的に支援してほしい。
- ・市の体育大会をもっと賑やかに行って欲しい。
- ・身体使い方が分からない子を見かけます。少しでも上手くなるような身体の使い方、

動かし方のコツ、日々出来るトレーニング等を教えてくれる教室が無いのかなあと
良く思います。姿勢、歩き方が変な子、足の指に力が入れない子、ドスドス歩
く子、手首足首も回せないような子が小学生でも居ます。